



いばらぎ 「茨木童子」

院長 西 田 敬

九州から見れば茨城は埼玉より余程、縁遠い。家康の度重なる治水工事も拘らず氾濫を繰返した、其の名も恐ろしげな鬼怒川も然り。都の北方は畏怖心も籠めて蝦夷と称された、喩え御膝元の近郊でも、恰も鬼の棲家。物心つく時分に偶然観た三代目中村時蔵の茨木童子が印象を決定付けた。無論、幼稚な頭脳で茨木と茨城が区別できる筈もない。真逆、茨木童子が京都郊外の隠田集落、大江山の酒呑童子の舎弟だとは、終ぞ、思いも依らぬ。将に生兵法は大怪我の基。学問の素と云えば数学、中でも幾何学。プラトン (BC427-BC347) が設立した学園 Academ(e)ia の入口には「幾何学を志さざる者、この門より内には入る可からず」の文句が刻まれていたとか。幾何学を齧った経験があれば、図形の科学の難問が補助線 (auxiliary-line) の一本で眸から鱗、忽ち氷解に至った経験を御持ちだろう。医学に於ける難問解決の鍵、補助線は矢張り

人体発生学 (勿論、ルネサンス以降の発生学) であろう歟。卵巢や精巣は性腺とも云うが、所謂外分泌腺組織はない。あるのは性ホルモンを産生する内分泌機能だけである。即ち、卵巢癌は、名前に反して卵巢由来ではない。全て余所からの輸入癌 (imported cancer) である。扱輸出元は何処か。腸管内部を除けば腹腔内の腺組織は那邊に存在する乎…あつたぞ、御喝采ではない、卵管采! 膣管や子宮、卵管など女性の生殖管を形成する原基であるミュラー氏管の先天性な欠損が生じる、Mayer-Rokitansky-Kuster-Hauser 症候群でも卵管采の形成が認められる (Fertility Sterility 90 Garret et al., 2008)。即ち、卵管采は卵管が延長した末端ではない! 尤も、ミュラー管形成不全の原因は不明の儘であるが。

御婦人方は一月に僅か一個だけ排卵なさる。鼠などの齧歯類では6個から7個の過剰排卵 (superovulation) が通常。万全を期した筈だが、人類の生殖医学も茲だけは手抜き。受精を待つ許に成熟した卵は、古巣の卵巢を離れて、空中ブランコ宜しく、卵管入口部に跳び移らねばならぬ。万が一にでも取外せば卵細胞 (配偶子) は広大な腹腔内に彷徨出る事になる。永遠に乎? 宛ら、彷徨るオランダ人じゃな。心配御無用! 無菌状態の腹腔内には当然の如く、免疫担当細胞が屯して居る。半数体の配偶子は異物と看做され処理される。若し、半数体でなかったら? 極、極稀にだが腹腔妊娠が成立する。更に稀にはその儘、發育し続けるが、大概の場合、腹腔内の異物処理班の大綱に捕捉され、蟄居させられる。

